

県民の友

主な記事

- 2面 県の機構改革
- 3面 人権特集
- 4～5面 予算特集
- 6～7面 お知らせ
- 8面 わかやま北南NEWSなど

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 ☎073(432)4111 <http://www.wakayama.go.jp/>

発行 / 和歌山県知事公室広報室

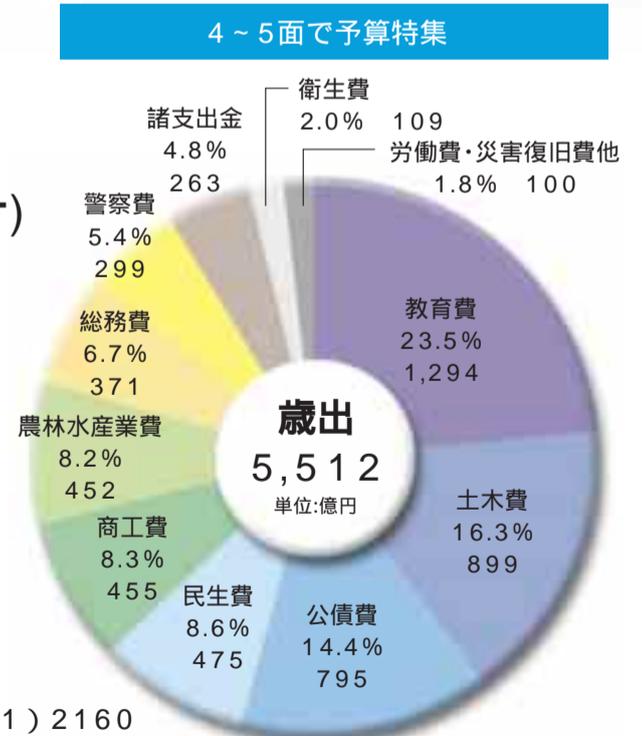
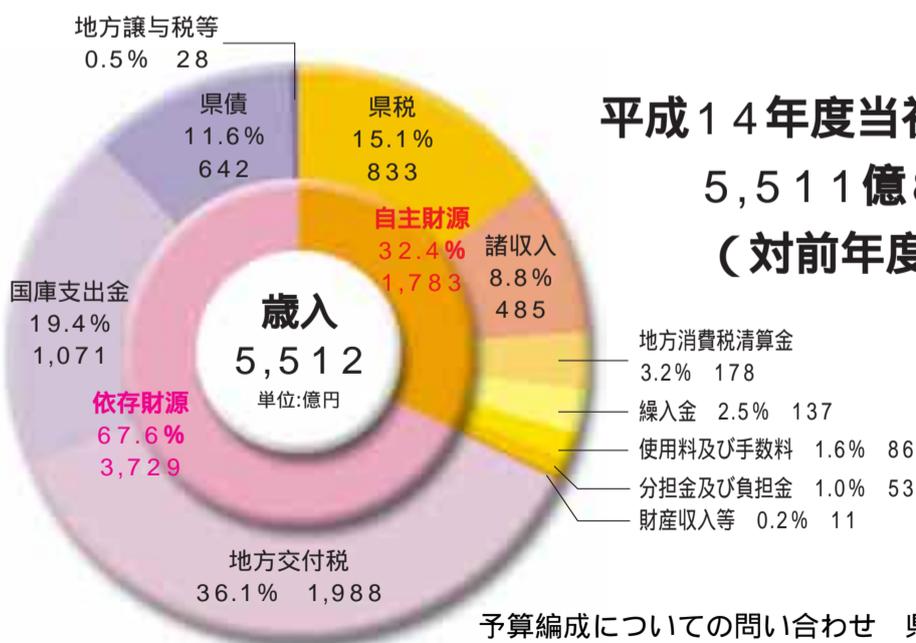


いざ、新年度 “思いっきり予算”でダッシュする!

「新しい和歌山」の創造に向けて、力強くダッシュしたい。

平成14年度当初予算の編成に当たっては、全職員を対象とした給与カットや、県が独自に出していた補助金をはじめ既存事業の徹底的な見直しを行いました。同時に、そうして生み出した財源等を充てて、木村知事の提唱で全国的な取り組みとして動き出した「緑の雇用事業」など、『和歌山モデル』とも言える和歌山発の独創的かつ効果的な事業を一つでも多く立ちあげることに全力を尽くしました。

効果が小さいと判断したものは“思いっきり”削って、必要なものには“思いっきり”つけた新年度予算。県では、この予算をひっさげて「地域間の知恵と工夫の競争」に臨みます。



予算編成についての問い合わせ 県庁財政課 ☎ 073(441)2160

衆議院和歌山県第2区補欠選挙 投票日4月28日(日)

「ぶらり投票 キラリ投票 あなたの一票を大切に」

和歌山県第2区 = 海南市、橋本市及び海草郡・那賀郡・伊都郡内の町村

平成14年度県機構改革

やる気と実行力の組織へ

4月1日から県の組織が変わりました。今年度の機構改革では、重点施策の推進にあわせた組織づくりを進めるとともに、積極的に課題に挑戦する問題解決型の組織に整備しました。



1 重点施策の総合的推進をめざして

(1) 緑の雇用推進局

「緑の雇用事業」を推進していきます

「緑の雇用事業」は、森林や清流を整備・保全したり地域資源を活かした新たなビジネスを創ることで、地域住民の雇用確保やU・Iターン者等の定住を促進し、過疎化・高齢化が進む地域の活性化を図ろうとするもので、昨年、知事が提唱し国や他府県の賛同を得ました。今年度から農林水産部に新たに「緑の雇用推進局」を設置し、情報発信、定住促進、技術習得、雇用確保、所得補償、地域交流の6つの柱を軸に事業を展開していきます。

緑の雇用推進局には、新たに「新ふるさと推進課」「定住促進課」を置くとともに、古座川町に「ふるさと定住センター」を開設し、新規就業者の技術習得を支援します。

(2) 環境政策局 環境施策を推進します

循環型社会の実現など環境施策を総合的に進めるため、環境生活部に「環境政策局」を新設するとともに、地域環境課に「処理計画推進室」を置き、市町村や企業等が一体となった廃棄物処理の取り組みを進めます。また、橋本ダイオキシン対策や産業廃棄物処理の指導を強化するため、「廃棄物対策課」を設置します。

2 暮らしの向上をめざして

(1) 人権行政の総合的な推進

人権行政を総合的に進めるため、企画部に「人権室」を設置し、人権尊重の尊重の社会づくりに取り組みます。また、和歌山ビッグ愛(和歌山市)に「人権啓発センター」がオープンします。

(2) 「防災センター」の整備促進

防災対策を強化するため、消防防災課に「防災センター整備班」を置き、「防災センター」の設置に向けた体制を整備します。防災センターは、災害対策本部室や防災情報の一元化システム等を備え、災害発生時には災害対策活動の拠点となります。

(3) 保健・看護教育の充実

県内の保健・看護の水準を高めるため、医科大学看護短期大学部を平成16年4月に4年制とする準備業務に着手します。

(4) NPO活動の支援・促進

NPO関係者や県民の皆さんが自由に利用できる活動拠点施設として和歌山ビッグ愛(和歌山市)に「NPO活動支援センター(仮称)」を整備します。

3 産業支援の強化をめざして

(1) 総合的な産業支援

商工労働部に「新産業室」を設置し、企業誘致活動の強化、本県経済の新たな担い手育成など総合的な産業支援体制を拡充します。

(2) 県産品販路拡充・TLO機能の支援体制の強化

商工労働部に「産品・技術支援プロジェクト

チーム」を設置し、県産品の販路拡充や、大学・研究機関の研究成果を産業界に移転するため両者を仲介する機能(TLO機能) 県内企業の新技術等の開発などの支援体制を充実・強化します。

(3) 「薬事指導所」と「工業技術センター」との統合

県工業技術センターに「薬事開発部」を新設し、薬業振興の体制を拡充します。

4 効率的な行政運営をめざして

(1) 行財政システム改革の推進

「行財政システム改革室」を新設し、弾力的な予算執行管理や政策評価など行財政システムの改革に取り組みます。

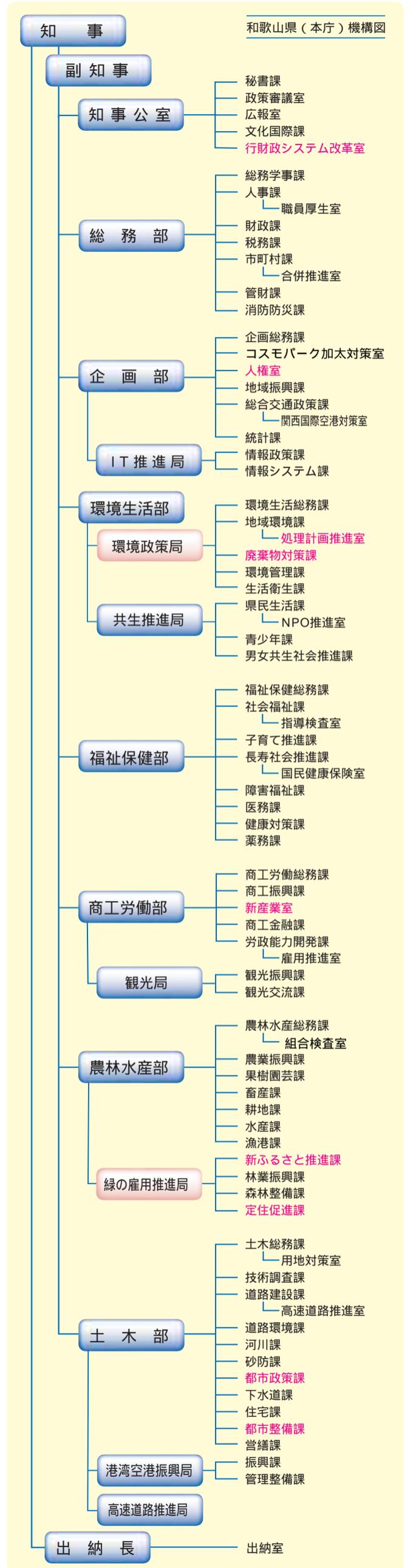
(2) 市町村合併の支援体制の強化

「合併まちづくり連携会議」を設置し、重点支援地域を中心に具体的に課題を調整するなど、市町村合併の支援をさらに充実・強化します。

(3) 振興局の組織整備

振興局において、仕事のタテ割りを少なくする「グループ制」を導入し、課題に柔軟に、より早く処理していける組織体制を作ります。

問い合わせ 県庁人事課 ☎073(441)2126



赤色は新設もしくは整備された局・課室

「人権の21世紀」実現へ

県民あげて 取り組もう

21世紀は「人権の世紀」とも呼ばれ、人権問題への関心が国際的にも国内的にも高まっています。

県ではこれまでも、同和問題の解決をはじめ、すべての人の人権が尊重される社会の実現をめざして積極的に取り組んできましたが、このほど、総合的な人権施策をさらに進めるため「和歌山県人権尊重の社会づくり条例」を4月1日に施行しました。

県ではこれを受け、今後、人権施策の基本方針を定めて、県民のみなさんと共に取り組んでいきます。一人ひとりの人権が尊重され、みんなが生き生きと暮らせる明るい和歌山県となるよう、県民あげての取り組みを一層進めていきましょう。



平成13年度第2回人権フォトコンテスト
「親子あい」松浦義教さん(和歌山市)

和歌山県人権尊重の社会づくり条例(抜粋)

(県の責務等)

第二条 県は、(中略)人権意識の高揚を図るための施策その他の人権尊重の社会づくりに関する施策(以下「人権施策」という。)を積極的に推進するものとする。

(県民の責務)

第三条 県民は、互いに人権を尊重し、自らが人権尊重の社会づくりの担い手であることを自覚して、人権意識の高揚に努めるとともに、家庭、地域、学校、職域その他の社会のあらゆる分野において人権尊重の社会づくりに寄与するよう努めなければならない。

(人権施策基本方針)

第四条 知事は、人権施策の総合的な推進を図るための基本となる方針(以下「人権施策基本方針」という。)を定めるものとする。

(和歌山県人権施策推進審議会)

第五条 和歌山県人権施策推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。
2 審議会は、人権施策基本方針に関する事項を審議するほか、知事の諮問に応じ、人権尊重の社会づくりに関する基本的事項を審議する。

和歌山県同和委員会の

解散と今後の展開について

和歌山県同和委員会は、昭和31年の設立以来、半世紀にわたって同和問題の解決のため、「県民みんなの同和運動」を目標に行政といっしょになって教育・啓発活動に尽力してきました。現在、解決に向けての明るい展望が開かれるまでになりましたが、依然として差別事象が起きていること、同和問題を人権問題であるというその本質においてとらえ、人権尊重の精神を日常生活の中にとりこみ、根づかせるための取り組みを進めることにより同和運動の新たな展開を図るため、3月31日をもって同和委員会は解散しました。今後は、新しい時代にふさわしい取り組みを、県・市町村が連携して積極的に推進していきます。

「和歌山県人権啓発センター」4月1日開設

和歌山ビッグ愛(和歌山市)の2階に「和歌山県人権啓発センター」を開設しました。センターでは、県民のみなさんに人権についての知識・理解を深めていただくため、さまざまな人権に関する情報の収集・発信や人権教育啓発活動を行います。
県人権啓発センター ☎073(435)5420 FAX073(435)5421



事業概要

情報の発信

閲覧室運営 図書、ビデオ等の閲覧・貸出
常設展示 各種資料、展示物等の収集・展示
ホームページ運営 インターネットを通じた幅広い情報の提供・収集

指導者育成等

企業・団体・地域の指導者育成講座
市町村人権担当者研修
研修会講師派遣
人権セミナー(公開講座)
⑤グループ討論型研修

人権教育啓発

啓発資料の作成
・一般向け啓発教材としての冊子作成
・職場研修等向け教材としてのビデオ作成
各種啓発資料の募集
・児童生徒等からポスター、作文を募集
・一般から写真を募集(人権フォトコンテスト)
差別をなくす強調週間
・啓発イベント実施
・テレビ、ラジオ、広報紙など各種媒体を通じての集中啓発
ラジオ番組「みんなで人権を考えよう」(和歌山放送)
・定期的に啓発番組を放送



「和歌山県男女共同参画推進条例」施行

4月1日、県民の皆さんから広くご意見をいただき制定した「和歌山県男女共同参画推進条例」を施行しました。
条例では、男女が共に社会のあらゆる分野での活動に参画する機会が確保され、互いの個性と能力を十分に発揮しつつ利益を等しく享受し、共に責任を分かち合うことのできる社会を実現するための施策や禁止行為などを定めています。

「和歌山県男女共同参画審議会委員」を募集します。

条例に基づき設置する「和歌山県男女共同参画審議会」の委員を募集します。
対象 県内に居住し平成14年4月1日現在で満20歳以上の方(ただし、国または地方公共団体の議員・職員等は除く)
募集人数 2人
業務内容 男女共同参画の推進に必要な施策等を検討する会議への出席(年5回程度、県規定による旅費等を支給)
任期 2年
申込方法 県庁男女共生社会推進課、県男女共生社会推進センター、各振興局県民行政部総務課、市町村役場担当課で配布する申込書に小論文(1,600字程度)を添えて、4月30日必着で県庁男女共生社会推進課まで
問い合わせ 県庁男女共生社会推進課 ☎073(441)2510

あなたの悩みを、気軽にご相談ください

(相談無料・秘密厳守)

夫婦や家族の問題、仕事と家庭の両立、セクハラや男女間の暴力など、男女共同参画にまつわる身近な問題に相談員が応じます。

県男女共生社会推進センター ☎073(435)5246
月～土曜日(祝休日、年末年始を除く)9時～20時30分

人権啓発・福祉保健医療の充実

新 人権啓発センター運営
9,373万円(人権室)
人権文化創造のための拠点として開設する「人権啓発センター」の運営費を助成するとともに、各種人権教育啓発事業を委託

新 シニアマイスター登録・活用
278万円(長寿社会推進課)
人生経験を通じて培った知識・技能等を広く他者に伝える意欲のある高齢者を認証・登録し、活動の場を紹介・提供

喜びの国づくり推進
1億2,437万円(長寿社会推進課)
高齢者が気軽に学べる環境をつくるため、「紀の国長寿大学」を「わかやまシニアカレッジ」に名称変更し、内容を拡充

乳幼児医療費助成
5億9,457万円(子育て推進課)
少子化対策として平成14年8月から、保護者にとって経済的・精神的負担の大きい入院時の医療費助成の対象を就学前児童にまで拡大

新 障害者IT促進 584万円(障害福祉課)
障害者がパソコンの使用方法等を習得するため、IT講習会を開催するとともに、パソコン指導ボランティアを養成・派遣



看護短大4年制化準備

新 遠隔地医療画像診断支援システム
100万円(健康対策課)
地域間における医療格差の解消等を図るため、ITを活用した遠隔地医療画像診断支援システムを構築・推進するための諸施策を検討

新 薬用植物を利用した心豊かで健康な故郷づくり
350万円(業務課)
国立和歌山薬用植物栽培試験場との連携のもと、「薬用植物を利用した健やかで活力ある故郷づくり」をテーマに「薬草故郷づくりフェア」を開催

新 ドクターヘリ実施 6,453万円(医科大学)
重篤な救急患者発生時に現地に急行し、早期治療を行うことにより救命率の向上を図るため、「空飛ぶER(救命救急室)」であるドクターヘリを県立医科大学救命救急センターに導入・整備し、三重・奈良県との共同利用を開始(平成15年1月予定)

看護短大4年制化準備
3,931万円(医科大学看護短期大学部)
本県の保健・看護水準を高めるため、県立医科大学看護短期大学部を4年制に改組する準備

緑の雇用事業

新 木の国・「木の薫る店」モデル整備
2,320万円(林業振興課)
紀州材のPRのため、間伐材を利用した「キットハウス」を開発し、農林水産物の「地産地消」に取り組む生産者グループの販売所等として利用

新 緑の雇用創出モデル
8,912万円(林業振興課)
モデル地域を設定し、住宅確保や資金融資、技術習得研修の実施など、Iターン者等の定住を促進するための模範事例を構築

新 「新ふるさと創り」推進
1,757万円(政策審議室)
都市から地方への人口の流れをつくるための仕組みづくりや、Iターン者の創業支援等を実施

新 緑のふるさと暮らしインフォメーション 842万円(定住促進課)
受け入れに関する情報を収集蓄積し、Iターン等希望者に的確に情報提供するとともに、農林業に関する基礎技術体験研修の機会を提供

新 わかやまグリーンワーカー
4,170万円(環境生活総務課)
緊急雇用創出特別基金を活用して、自然公園の修景美化、景観の維持復元等の事業を実施



古道周辺森林環境整備

1億2,894万円(森林整備課)
熊野古道や高野山町石道などを「みどりの回廊」として広葉樹植栽等による修景整備や眺望復活により、景観整備と環境保全を両立

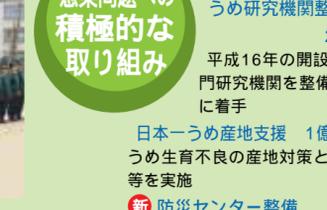
広葉樹林等森林環境整備
3億5,210万円(森林整備課)
森林のもつ環境保全や防災といった公益的機能を維持・向上させるため、所有者と協定を結んだ上で広葉樹植栽等を実施

新 グリーンサポート推進
261万円(農業振興課)
規模拡大をめざす農家の季節的労働力不足を解消するため、近隣住民、Iターン者等の求職希望者にインターネット等を活用して求人情報を提供

懸案問題への積極的な取り組み

新 廃棄物処理促進地域モデル
632万円(地域環境課)
事業者・市町村・県の三者による協議会を設立し、廃棄物の排出量やその種類及び施設整備の実態など、その地域の実情に応じた廃棄物処理のあり方について検討

ダイオキシソシン類等環境汚染対策
11億203万円(地域環境課)
橋本市の産業廃棄物処理場から飛散流出したダイオキシソシン類で汚染された土壌等に関する対策を実施



うめ研究機関整備

2,916万円(果樹園芸課)
平成16年の開設を目的に、産地密着型の専門研究機関を整備するための基本・実施設計に着手

日本うめ産地支援 1億9,699万円(果樹園芸課)
うめ生育不良の産地対策として、改植更新や土壌改良等を実施

新 防災センター整備 525万円(消防防災課)
南海地震等大規模災害に備え防災体制の充実強化のため、新たな「防災総合情報システム」及び「防災行政無線」の基本構想を策定

新 深刻化する犯罪情勢への対応
3,889万円(警察本部)
犯罪の多発等に伴う警察官の街頭活動強化をサポートし、交番の空き状態を解消するため交番相談員を増員

警察官の増員 40名(警察本部)
警察事象の増大や質的变化、県民の「安全」に対するニーズの多様化等に対応

平成14年度 県当初予算 新規事業・主要事業の概要

文化立県わかやま

世界遺産登録推進
2,269万円(世界遺産登録推進室)
三重県、奈良県及び関係市町村との連携のもと、高野・熊野を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を推進

新 ミュージアムKOYASAN
1,300万円(文化財課)
より多くの人に繰り返し高野山を訪ねてもらえるよう、金剛峯寺伽藍ほか金剛峯寺境内一円を会場に体験型事業を春・秋に実施

新 県立博物館施設有効活用(文化財課)
子どもたちが気軽に芸術文化作品に触れることができるよう、近代美術館及び博物館の入館料について高校生以下の無料化を実施



新 きのくに芸術・技能新人表彰

120万円(文化国際課)
芸術・技能分野における本県出身の有望な新人を表彰すると同時に、広く県民に向けて発表する機会を提供

蔵書充実 6,824万円(県立図書館)
生涯学習の拠点施設にふさわしい図書館としての役割を果たすため、図書資料購入を大幅に拡充

産業の活カアップ

新 IHS(Innovation Hot Springs)
構想推進 1,900万円(新産業室)
田辺・白浜周辺地域にIT関連産業を集積させるための企業誘致助成措置を設けるとともに、地域交流を通じた人材育成など知的産業の拠点づくりを促進

新 SOHOイントラネット支援
1億5,262万円(新産業室)
県内での起業を促進するため、スタートアップ・オフィス(情報通信環境が整った低料金の賃貸施設)を海南市等に増設するとともに、入居者相互の連携・交流のための施設間ネットワークを整備



新 和歌山県大学発ベンチャー支援
800万円(新産業室)
大学等の研究者や大学生等の創業を支援

新 きのくにインバウンドコーディネーター
810万円(新産業室)
IT関連をはじめ将来性の高い分野の企業誘致活動を強化するため、東京に企業誘致専門員を配置

新 「企業ソムリエ委員会」運営
180万円(新産業室)
次代の県経済を担う有望な芽を見つけ支援するため、県内企業の技術力やビジネスプランを評価する「企業ソムリエ委員会」を設置

新 きのくに就職ガイダンス21
450万円(労政能力開発課)
未就職者の円滑な就業を支援するため、再就職に必要な能力を向上させる研修会等を実施

新 果樹ある王国わかやまグルメピア
3,800万円(農林水産総務課)
優れた県産農産物を全国PRするため、本県ゆかりの著名人等を活用したイベントや物産展を実施

新 ほんまもん紀州備長炭PR大作戦
137万円(定住促進課)
「紀州備長炭」のブランド信用力を保つことで需要拡大を図るため、商品箱への開封防止ステッカー貼付を推進

新しい光路

新 観光わかやまアクティブーションプロジェクト
1億4,700万円(観光振興課)
本県の認知度向上とイメージアップを図るため、首都圏を中心に全国に向けた戦略的観光プロモーションを展開

新 地域「観光力」パワーアップ
3,500万円(観光振興課)
観光の主役である「地域」の観光力を高めるため、広域的に行う「地域」の個性、魅力を最大限に活かしたキャンペーン等に対し支援

新 観光地バリアフリー化推進
2,200万円(観光振興課)
高齢者・障害者など誰もが安心して楽しめる観光地づくりを進めるため、ハード・ソフトの両面から観光地のバリアフリー化を推進



新 「新ふるさと観光づくり」推進
5,000万円(観光交流課)
和歌山県を「心のふるさと」と感じてもらうため、地域の営みや暮らしの中での自然や農林漁業、生活文化等の資源を活かした体験・交流型観光を推進

教育・スポーツの振興

新 和歌山県修学奨励 2億1,141万円(生涯学習課)
修学の奨励と教育の機会均等を図り、有為な人材の育成に資するため、経済的事情により高等学校及び大学等への修学が困難な者に対し修学に要する経費の一部を貸与

新 e-Learning創造 195万円(教育研修センター)
新学習指導要領の効果的な実施を図るため、ネットワーク型学習システムの開発を行うことを目的に、すべての教科・領域で教員自らがコンテンツ(内容)を開発

新 第13回世界少年野球大会運営
4,500万円(スポーツ健康課)
世界の20カ国・地域から少年少女が参加し、紀南地方を中心に野球教室や地元少年野球チームとの交流試合を開催

ビッグスポーツイベント招致
6,000万円(スポーツ健康課)
ワールドカップサッカー大会出場国(デンマークチーム)のキャンプ受け入れ、関連イベント等を実施



県政の構造改革

新 NPO活動支援センター体制整備
921万円(県民生活課)
NPO活動の活発化を図るため、その活動拠点を「和歌山ビッグ愛」に設置し支援

新 人材情報活用ナビゲーション
200万円(男女共生社会推進課)
審議会等委員への登用促進をはじめ、あらゆる分野への女性の参画を支援するため、女性の人材情報を幅広く収集・提供

新 試験研究機関外部評価・マネジメント 46万円(人事課)
県立試験研究機関の効果的・効率的な運営と活性化を図るため、専門家による委員会を設置し、研究課題評価や研究管理体制等を検討

市町村合併推進
2億5,671万円(市町村課)
市町村合併の気運を醸成するために広報啓発を行うとともに、合併重点支援地域等の合併に向けた取り組みを財政的に支援



市町村合併についても考える全国市町村合併推進会議

ITわかやま

IT総合センター(仮称)整備
6億7,275万円(情報政策課)
平成16年春の完成に向け、IT総合センター(仮称)の建設工事等に着手

新 IT YOUTH インキュベータ
1,041万円(情報政策課)
県の情報化をけん引する人材育成のため、中高生を対象にした高度な技能修得の研修や技術資格取得等に向けたサマーキャンプ等を実施

電子県庁推進 1,000万円(情報政策課)
県民の方がホームページを通じて県への申請・届け出ができる受付システムの構築など、県庁の電子化推進に向けた基本設計を策定



IT総合センター(仮称)完成予想図

開かれた和歌山県の実現

新 わかやまの道基準づくり
200万円(道路建設課)
全国統一的・画一的な道路整備に対し、コスト縮減、工期短縮のため、道路幅など地域の実情にあった新基準を策定

新 田辺西バイパス先行取得・用地事務
9億7,577万円(高速道路推進室)
近畿自動車道紀勢線田辺ICと接続する国道42号田辺西バイパス(田辺市稲成)の早期供用に向け用地取得に着手

近畿自動車道紀勢線用地事務
1億5,500万円(高速道路推進室)
海南・吉備間及び御坊・田辺間の用地取得と土地物件の調査測量を実施

橋本道路用地事務・紀北東道路先行取得
10億1,098万円(高速道路推進室)
橋本道路(橋本市隅田町～高野口町大野)の用地取得を促進するとともに、紀北東道路(高野口町大野～打田町神領)の用地先行取得に着手

府県間道路整備
40億4,000万円(道路建設課)
大阪府及び近畿圏との交流促進、国土幹線軸へのアクセス向上のため、府県間を結ぶ連絡道路を整備(国道371号・480号、県道泉佐野岩出線)

地域高規格道路整備
27億円(道路建設課)
紀伊半島地域の連携を強化させ、周辺市町村の活力ある地域づくりに貢献する幹線道路を整備(国道168号)

新 あさもよし紀伊国スクール
125万円(学校教育課)
都会に住む児童生徒に「ふるさと」を体験してもらうため、和歌山の自然の中での体験学習や地元の子もたちと交流する機会を提供



新 海遊モデル
920万円(水産課)
漁業権の設定されている自然海岸を開放するとともに、ヒオウギ貝養殖オーナー制度の導入等により漁村と都市との交流を促進

新 資料提供ホームページ管理運営
453万円(広報室)
報道機関への提供資料を県ホームページにも掲載

募集

喜の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会

5月17日＝串本町・グラウンド
ゴルフ

5月29日＝和歌山市・卓球、弓道
6月4日＝岩出町・ペタンク
6月11日＝和歌山市・テニス、
ソフトテニス

種目によりダブルス・トリプル
ルス等あり

対県内在住の60歳以上の入昭和
18年4月1日以前生まれの人

申八ガキ、FAXに住所、氏名、
性別、生年月日、電話番号、種目
(チーム名)を記入し、5月7日
までに(財)いきいき長寿社会セ
ンター〒640 8319和歌山市
手平2-1-2和歌山ビッグ愛
7F、FAX073(435)5215

問 申込先 ☎073(435)5214

全日本中学生「水の作文」
コンクール
課題 水について。題名自由。

おしらせ

時 期日・時間 場 場所・会場 定 定員 対 対象・資格 費 費用
申 申込・応募方法 備 お問い合わせ 備 希望者多数の場合辞退

県庁・県教育委員会へのお問い合わせ
〒640-8585(県庁専用郵便番号、住所記入不要) ☎073(432)4111

「南民の友」を掲載している和歌山県のインターネットホームページは
<http://www.wakayama.go.jp/>



400字詰め原稿用紙4枚以内。
本文の前に題名、学校名、学年、
氏名(ふりがな)、性別を記入
対県内の中学生(同学齢の人を
含む)
申 5月15日までに県庁地域振興課
問 申込先

近畿青年洋上大学
近畿の青年440人と共に中国を訪
問。洋上研修や現地青年との交
流などを行います
時 8月9～20日(12日間)
訪問国 中国(大連・秦皇島・天
津・北京)
対県内在住の20～30歳の人
定 80人(選考)
費 14万5千円
申 4月30日までに県庁青少年課、
各振興局県庁行政事務課
問 申込先

「ふるさと和歌山わいわい市場」
出店者(無料)
インターネット上に設置され
た和歌山の産品市場
対県内で生産・製造業を営み、電
子商取引に意欲のある事業者等

申込用紙 県庁新産業室、各振興
局地域行政課で配布。県ホーム
ページにも掲載しています
申 県庁新産業室で随時受付
問 申込先

森づくりの集い
植樹と間伐作業を体験します
時 4月20日 9時30分 滝原温
泉ほたるの湯(広川町)集合
申 八ガキ、FAX、Eメールに
住所、氏名、年齢、電話番号を
記入、又は電話で4月15日まで
に有田振興局林務課〒643 00
04 湯浅町湯浅2355 1、
☎0737(64)1263、FAX 0
737(64)1264、Eメール
okada_k002@office.wakaya
na.go.jp
問 申込先

特定公共賃貸住宅入居者

団地名	戸数
ニユーかわなが	12
宮前駅前	2
城北	1

家賃 82,000～115,000円 家賃補助あり(要資格)
申 申込用紙配布 県住宅供給公社、
県庁住宅課
問 県住宅供給公社 ☎073(425)6888

語学教室
フランス語 5月14日～7月2日
毎火曜(全8回)初めて13時
30分、初級18時30分、
初級英会話 5月15日～7月3日
毎水曜(全8回)18時30分、
スペイン語 5月9日～6月27日
の毎木曜(全8回)初めて13
時30分、初級18時30分、
場 県国際交流センター(和歌山
ビッグ愛・和歌山市)
定 各講座20人(先着順)
費 各4,000円(1講座)
県国際交流協会賛助会員登録料
3,000円別途必要
申 八ガキ・FAXに希望講座名
住所、氏名(ふりがな)、電話番

号を記入し、(財)県国際交流教会
〒640 8319和歌山市手平2
1-2和歌山ビッグ愛8F、
FAX 073(435)5243
問 申込先 ☎073(435)5240

**ふれ愛紀州路キャンペーン
タツ**
5月から1年間、県内外で和歌
山県の観光のPR活動やイベン
ト等を手伝っていただきます
対 県内在住又は出身の18歳以
上(平成14年3月31日現在)の
高校生を除く人で、協調性に富
み明朗で健康的な人。
・県観光連盟が随時指定する日
に従事可能な人(業務が数日に
及び場合もあります)
定 4人
申 履歴書を4月16日までに(社)県
観光連盟・キャンペーンスタッ
フ係へ郵送又は持参
審査・面接 4月21日11時～14時
1F(和歌山市)
問 申込先 ☎073(422)4631

県産品活用促進(登録受付)
県では、土木建築資材の県産品
の利用の促進をめざして、イン
ターネットによる検索システム
をつくるために、県産品の製造
業者の方から資材、製品等の登
録を受け付けています。
<http://www1.wakun.or.jp/ken31/>
問 県庁技術調査課

自動車税・自動車取得税減免
身体障害者手帳・戦傷病者手
帳・療育手帳・精神障害者保健
福祉手帳所持者が使用する自動
車については、申請により、自
動車の名義・障害の程度等一定
要件のもとに、自動車税・自動
車取得税の減免が受けられます。
既に自動車を登録している場合

は5月24日まで、新規登録の場
合は登録申請前までです。申請
は毎年度必要ですので、継続の
方も申請はお早めに。なお、今
年度から減免範囲を拡大(上肢
及び下肢の一部)しています。
問 各振興局税務課(海草振興局
は税務部自動車税・間税課)

労働保険の年度更新手続き
労働保険料の申告・納付は、5月
20日までに必ず済ませて下さい
問 和歌山労働局総務課労働保険
徴収室 ☎073(422)2175

労働相談
労働情報センター
労働相談月～金曜 10～16時
特別労働相談 社会保険労務士が
専門的な労働相談を受けます
第2月曜・第3金曜 14～16時
夜間相談 毎水曜 20時まで
休日相談 毎土曜 10～14時
問 和歌山県労働情報センター ☎
073(436)0735、県庁労政
能力開発課

地方労働委員会
個別労使紛争(労働関係に関す
る個々の労働者と事業主の紛争)
のあっせんを行います
問 同委員会 ☎073(441)3782

建設リサイクル法が施行
5月30日から、一定規模以上の
建築物の解体や新築工事等では
コンクリート、アスファルト、
木材は基準に従って分別(分別
解体)し、再資源化することが
義務づけられます
問 県庁技術調査課

自家用水道の届出
水道法の改正により、1日20t
以上の水を一般の人に利用させ
ている自家用水道の所有者は、
新たに届出が必要となります。
届出期間は9月30日までです。
問 県庁生活衛生課、各保健所

県男女共生社会推進センター りいぶる

りいぶる出前講座 募集
地域等で企画する講座や研修会等へ講
師を派遣します
対 男女共生社会の実現をめざす5人
以上のグループ等
テーマ 家族、子育て、仕事と家庭の
両立、ドメスティック・バイオレンス
など男女共生社会の実現に係るもの
講師 グループ等の希望を聞いたうえ
で、りいぶるが決定
参加者 20人以上の参加が見込めること
会場 各グループ等で確保、準備がで
きること
経費 講師の謝金及び旅費はりいぶる
が負担(金額に制限あり)
申 開催予定日の2カ月前までに所定
の申請書でりいぶる

りいぶるサポーター 募集
講座の企画・運営や啓発冊子・情報誌
の作成などのボランティア
対 今年度のりいぶるの主催講座を受講
できる人
定 50人程度
申 電話、FAX、Eメールでりいぶる

県男女共生社会推進員 募集
講演会の開催や啓発冊子の配布など県内
各地で男女共生社会づくりを推進するボ
ランティア
対 県内在住の20歳以上で平成15年
3月31日まで継続して活動できる人
定 80人程度
申 八ガキ、FAX、Eメールで5月
15日までにりいぶる

問 県男女共生社会推進センター りいぶる 〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
和歌山ビッグ愛9F ☎073(435)5245 FAX073(435)5247
Eメール e0315012@office.wakayama.go.jp

メジロの捕獲許可・飼養許可
県内では、愛がん飼養目的に捕
獲できる鳥はメジロのみで、飼
養できるのは1世帯1羽です。
問 捕獲許可・各振興局林務課
飼養許可・各市町村鳥獣行政担
当課

Uターンフェア
4月22日 12～16時
場 和歌山ターミナルホテル(和
歌山市) 予約不要
対 県内企業等への就職を希望す
る来春卒業予定の大学生等
問 県庁雇用推進室

春の全国交通安全運動
4月6～15日
運動の重点
子どもと高齢者の交通事故防止
飲酒運転等悪質・危険な運転
の追放
シートベルト・チャイルドシ
ート着用の徹底
緑の募金にご協力を!
21世紀は森林の世紀、緑の募金
で森林のルネッサンス

4月23日は「子ども読書の日」
県立図書館では絵本や児童図
書など子ども向けの本をたく
さんそろえています。
ぜひご利用ください。

**県立図書館紀南分館「親子
の図書室」の開室時間変更**
火・金曜日 14～17時
土曜日 10～12時、14～17時
問 県立図書館紀南分館 ☎073
9(22)2061

**WAWフェスタinゴールデン
ウィーク**
動物クイズラリー、動物とのふ
れあい、愛護教室など
時 4月27～29日、5月3～6日
10～16時
場 県動物愛護センター(野上町)
問 会場 ☎073(489)6500

**あなたの募金が森づくりに活用
されます。**
問 (財)県緑化推進会
(県庁森林整備課
内)



試験

(福)県福祉事業団(障害児者施設)看護師採用

時 5月12日

場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)

対 有資格者

定 3人程度

勤務予定場所 南紀福祉センター(上富田町)ほか福祉事業団管理施設

申 5月2日までに県福祉事業団事務局総務課

問 申込先 ☎073(435)5234

第1回県警察官A・B採用

時 5月11日

場 和歌山工業高校(和歌山市)、田辺商業高校(田辺市)

試験区分 A男性 24人程度、A女性 4人程度、B男性 10人程度、B女性 2人程度

対 警察官A 昭和48年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた方で、大学(短期大学を除く)の卒業者が平成14年7月末日までに卒業見込みの方

警察官B 昭和48年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた方。ただし、4年生大学の卒業生、卒業見込みの方は除く

A・Bとも平成14年8月採用に際してのことである方に限る

申込書配布 県人事委員会事務局、県警察本部警務課、県内各警察署

受付 郵送 4月5~19日

持参 4月15~19日に県人事委員会事務局

問 県人事委員会事務局

製菓衛生師

時 6月14日 14時

場 県民文化会館(和歌山市)

願書・菓子製造業従事者証明書配布

県庁生活衛生課、各県立保健所(支所)

申 5月13~17日に和歌山市居住者・県外居住者は県庁生活衛生課、その他の地域居住者は住所

地を管轄する県立保健所(支所)に提出

問 県庁生活衛生課、各県立保健所(支所)

危険物取扱者

種類 甲種、乙種、丙種

時 5月26日

場 各受験票に明示

願書配布場所 (財)消防試験研究センター和歌山県支部、県庁消防防災課、各振興局地域行政課、各消防本部

受付 4月15~18日に(財)消防試験研究センター和歌山県支部

問 申込先 ☎073(425)3369

下水道排水設備工事責任技術者

時 7月14日

場 和歌山大学(和歌山市)、上富田文化会館(上富田町)

申込書配布 5月7~17日に下水道事業等実施市町村、県庁下水道課、各振興局建設部、(財)県下水道公社

受付 5月20~24日

問 日本下水道協会和歌山県支部 ☎073(435)1093、県庁下水道課

地域・ひと・まちづくり事業

県内の地域づくり団体等が実施する個性豊かで魅力ある地域づくり活動や、心のふれあう地域づくり活動を支援します

補助率 対象経費の2分の1以内

補助限度額 100万円

申 問 各振興局地域行政課

可能で、求職活動等を行っていること

生計中心者が就労することにより世帯の今後の生活の見通しが明らかでないこと

生計中心者が離職の日から2年(特別の場合は3年)を超えていないこと

生計中心者が雇用保険の一般求職者給付を受給していないこと

貸付限度額 月額20万円以内(単身世帯は10万円以内)

貸付期間 12カ月以内

貸付利率 年3%

償還 5年以内の月賦償還

連帯保証人 原則2人

申 各市町村社会福祉協議会

問 県社会福祉協議会、最寄りの市町村社会福祉協議会

融資など

地域・ひと・まちづくり事業

県内の地域づくり団体等が実施する個性豊かで魅力ある地域づくり活動や、心のふれあう地域づくり活動を支援します

補助率 対象経費の2分の1以内

補助限度額 100万円

申 問 各振興局地域行政課

退職者支援資金

生計中心者の失業により生計の維持が困難となった世帯に生活資金を貸付けします

対 次の全てに該当する世帯

生計中心者の失業によって生計の維持が困難となった世帯

生計中心者が就労することが

可能で、求職活動等を行っていること

生計中心者が就労することにより世帯の今後の生活の見通しが明らかでないこと

生計中心者が離職の日から2年(特別の場合は3年)を超えていないこと

生計中心者が雇用保険の一般求職者給付を受給していないこと

貸付限度額 月額20万円以内(単身世帯は10万円以内)

貸付期間 12カ月以内

貸付利率 年3%

償還 5年以内の月賦償還

連帯保証人 原則2人

申 各市町村社会福祉協議会

問 県社会福祉協議会、最寄りの市町村社会福祉協議会

春がきた！青少年の家に集合！

家族の連休プラン

釣りや磯観察、ハイキングなどを家族で楽しめます
時 4月27~29日(2泊3日)
場 潮岬青少年の家
定 15家族 (抽)
費 4,140円~5,980円
申 八ガキ、FAX、電話で4月16日までに会場

白崎ネイチャークラブ・春

くんせいづくりや天体観測など
時 5月11~12日(1泊2日)
場 白崎青少年の家
対 県内の小学4年~中学生
定 40人 (抽)
費 3,000円
申 八ガキ、FAX、電話で4月27日までに会場

ワンバク大作戦

紀北の秘宝を探せ！
時 5月25~26日(1泊2日)
場 紀北青少年の家
対 県内の小学4年~中学生の4人一組 10組 (抽)
費 3,500円
申 八ガキ、FAX、電話で5月17日までに会場

ネイチャーライフ IN きぼく・春

炭づくり、ネイチャーゲームなど
時 5月11~12日(1泊2日)
場 紀北青少年の家
対 県内の小学4年~中学生
定 40人 (抽)
費 3,000円
申 八ガキ、FAX、電話で5月2日までに会場

家族で黒潮フィッシング

時 5月11~12日(1泊2日)
場 潮岬青少年の家
定 10家族 (抽)
費 2,700円~3,270円
申 八ガキ、FAX、電話で4月30日までに会場

家族でキス・カサゴ釣り

時 5月25~26日(1泊2日)
場 白崎青少年の家
対 県内の小学5年~中学生30人と家族 (抽)
費 子ども4,100円、保護者4,600円
申 八ガキ、FAX、電話で5月15日までに会場

八ガキ・FAXで申し込む場合

参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入してください。
申込先・問
紀北青少年の家 〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3 ☎073(22)5530、FAX0736(22)5531
白崎青少年の家 〒649-1123 由良町大引961-1 ☎0738(65)2351、FAX0738(65)2352
潮岬青少年の家 〒649-3502 串本町潮岬669 ☎0735(62)6045、FAX0735(62)0182

自然を学び 自然に親しもう

県立自然博物館

企画展

「自然からのSOS」

県内の絶滅あるいは絶滅のおそれがある野生生物の現状を実物標本や写真で紹介
時 4月20日~5月26日

申込方法

往復八ガキに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、保護者氏名、講座名を記入し、県立自然博物館〒642-0001 海南市船尾370-1

県立自然博物館友の会

自然博物館をよりよく利用しながら自然に親しむ会です。自然博物館の入館料が無料になるほか、会誌やイベント情報をいち早くお届けします。

天神崎の磯の観察会

時 5月12日
場 天神崎(田辺市)
対 小学生以上80人 (抽)
申 4月27日まで
小学生は保護者同伴で、中学生だけの参加は保護者氏名押印が必要

子ども昆虫クラブ

里山で昆虫採集をして標本を作ったり名前を調べます
時 5月11、25日、6月8、22日 10時~
場 自然博物館とその周辺
対 小学5年~高校生で全日程に参加できる人
定 15人程度 (抽)
費 1,300円と入館料
申 4月27日まで

問 同博物館

☎073(483)1777

老人保健の外来一部負担金等が改定されました

対 70歳以上の人又は65歳以上で障害認定を受けた人

医療費の一部負担金

・定額一部負担金額(定額制の届出をした診療所)	1日につき800円	850円
・定率1割負担の月額上限額		
診療所又は200床未満の病院	3,000円	3,200円
200床以上の病院	5,000円	5,300円
院外処方が行われた場合		
診療所又は200床未満の病院/薬局	各1,500円	各1,600円
200床以上の病院/薬局	各2,500円	各2,650円

老人訪問看護療養費基本利用料

・定額制の訪問看護ステーションに係る一部負担金額	1日につき600円	640円
・定率1割制の訪問看護ステーションに係る月額上限額	3,000円	3,200円

問 県庁国民健康保険室、各市町村老人医療担当窓口

4月は未成年者飲酒防止強調月間

未成年者の飲酒は法律で禁じられています。また、法律が改正され、酒類を扱う事業者にも年齢確認義務が課されています。家庭、学校、事業者、地域社会が一体となって、未成年者の飲酒防止に取り組んでいきましょう。

催し

- 県植物公園緑花センター ☎0736(62)4029**
- ペゴニアの育て方と楽しみ方 4月14日
 - 写生教室(小学生のみ) 4月20日
 - スマレ展 4月13~14日
 - 生け花展 4月20~22日
 - 花の原色押花展 4月27日~5月22日
 - 心を癒やす山野草生け花展 4月27~29日
 - 古典植物展 4月28~29日
 - 春のネイチャーゲーム 5月3日
 - 春の盆栽展 5月10~12日
 - 野生ラン展 5月11~12日
 - クジャクサボテン・月下美人・金のなる木の育て方 5月12日

は事前申込必要

県民文化会館 ☎073(436)1331
4月から9月30日までの間、毎月第3火曜日以外は毎日開館します。

県立博物館 ☎073(436)8670
根来寺の能面・紀伊徳川家ゆかりの品・4月27日~6月2日

県立近代美術館・県立博物館
高校生以下の入館料が無料に!

これまで小学生以上に入館料が必要でしたが、4月から全ての開館日で高校生以下の入館料が無料になりました。

中・高校生は生徒手帳を持参してください。

お気軽に

交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月~金曜日(東牟婁振興局☎0735(22)8551は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】 県庁交通事故相談所 4月15日、5月13日 受付 13~14時 東牟婁振興局
4月19日、5月10日 受付 正午まで(電話予約必要)

【巡回相談】 伊都振興局 4月24日 西牟婁振興局 5月8日 受付 11~15時

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月~金曜日 場所 県庁県民相談室

【弁護士による相談】 4月16日 4月26日 5月10日 場所 県庁県民相談室 電話予約受付 4月8日~ 4月17日~ 4月30日~(各先着16人)

【移動相談】 4月23日南部町・南部町役場 5月9日打田町・古和田会館 電話予約 日高振興局 ☎0738(24)2936 那賀振興局☎0736(61)0005(各先着10人)

高齢者相談 ☎073(435)5212

【弁護士による相談】4月19日(電話予約必要)

場所 県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

夫・恋人からの暴力で悩んでいますか?

県女性相談所に配偶者暴力相談支援センターができました。配偶者からの暴力で悩んでいる人の相談・支援・保護等の窓口となります。ひとりで悩まず、まず相談してください。秘密は厳守、相談は無料です。

【県女性相談所、配偶者暴力相談支援センター】

☎073(445)0793

電話相談 受付時間 9~21時30分

面接相談(予約制)9時30分~16時30分

子どもの精神保健相談

県子ども・障害者相談センターでは、これまでの相談業務に加えて、新たに児童精神医学の専門医による相談を開始しました。

【内容】18歳未満の子どもの不登校、引きこもり、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、被虐待児、情緒不安定、心身症、その他の問題行動などに対する相談等

【時間】毎火曜 9~16時 事前予約必要

【場所】県子ども・障害者相談センター(和歌山市)

【問】県子ども・障害者相談センター子ども相談課

☎073(445)5312

春ラン展
(県植物公園緑花センター)



わがやま.. 北南NEWS

わがやま.. 北南NEWS

紀伊山地の霊場と参詣道展

和歌山県は、三重・奈良両県と「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を進めているところですが、そのPR活動の一環として、東京銀座のギャラリーで展覧会を開催しました。映像や絵画、写真により「熊野古道」や「高野山町石道」などを疑似体験しながら熊野三山や高野山に参詣できるよう趣向を凝らしたもので、訪れた人は興味深げに見入っていました。



向けて

わがやま.. 北南NEWS

全面改築整備完了!



重症心身障害児施設の機能強化や在宅福祉の推進のため、平成11年9月から全面改築工事が進められていた南紀福祉センターがこのほど完成しました。

新しいセンターは、入所定員を60人に増やし、入所者の生活環境の改善を図るとともに、重症心身障害児者のための通園事業やショートステイ事業の拡充、CT撮影装置など医療機器の導入を行いました。更に障害者のための外来診療も従来の整形外科・小児科・精神科に内科・歯科が加わり充実しました。

詳しくは同センター☎0739(47)2175まで

紀の国ふれあいバス



県の施設や現場などへバスで見学に行きます。

参加者募集

申 ハガキに参加者(1枚につき2人まで、1人1枚に限る)の住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを記入し、4月16日までに各申込先。(抽) E、Gコースは昼食代を含まない

コース	日程	定員	費用	内 容	申 込 先
A	5/10	80人	2,400円	県民文化会館前発 清水町高齢者生産活動センター(保田紙・紙すき体験) 醤油資料館 万葉館 県民文化会館前着	県庁広報室 ☎073(441)2034 〒640-8585(住所記載不要)
	5/17	80人			
B	5/17	40人	1,300円	海南市役所前発 林業試験場 防災航空センター 南紀白浜空港 海南市役所前着	海草振興局県民行政部総務課 ☎073(441)3352 〒640-8585(住所記載不要)
C	5/16	45人	1,750円	那賀総合庁舎前発 和歌山高等看護学院 青洲の里(パンづくり体験) 紀ノ川流域下水道伊都浄化センター 農業大学校 那賀総合庁舎前着	那賀振興局県民行政部総務課 ☎0736(61)0005 〒649-6223岩出町高塚209
D	5/15	45人	1,500円	伊都総合庁舎前発 交通管制センター(安全教室) 県立医科大学附属病院 NHK和歌山放送局 伊都総合庁舎前着	伊都振興局県民行政部総務課 ☎0736(33)4900 〒648-8541(住所記載不要)
E	5/17	46人	500円	有田総合庁舎前発 護摩壇山森林公園 養鶏研究所 有田総合庁舎前着	有田振興局県民行政部総務課 ☎0737(64)1255 〒643-0004湯浅町湯浅2355-1
F	5/16	40人	1,500円	南部町役場前発 御坊市役所前発 由良町中央公民館前発 御坊市歴史民俗資料館(和紙葉書づくり体験) 暖地園芸センター 養鶏研究所 由良町中央公民館前着 御坊市役所前着 南部町役場前着	日高振興局県民行政部総務課 ☎0738(24)2936 〒644-0011御坊市湯川町財部651
G	5/15	40人	600円	JR紀伊田辺駅弁展覧会前発 植物公園緑花センター 紀伊風土記の丘(雨天時体験学習) JR紀伊田辺駅弁展覧会前着	西牟婁振興局県民行政部総務課 ☎0739(22)1200 〒646-8580(住所記載不要)
H	5/16	40人	1,400円	東牟婁総合庁舎前発 栽培漁業センター 畜産試験場 林業試験場 東牟婁総合庁舎前着	東牟婁振興局県民行政部総務課 ☎0735(22)8551 〒647-8551(住所記載不要)

参加団体募集

実施日 土・日・祝日・年末年始を除く日の9~17時ごろ

対象 20歳以上の県民で構成する団体やグループで、1回あたりの参加人数が50人程度であること。平成13年度に参加した団体は不可

申込用紙配布 県庁広報室、各振興局。県ホームページにも掲載

申込 申込用紙に記入し、4月22日までに和歌山市内に所在する団体は県庁広報室、その他の団体は各振興局県民行政部総務課

問い合わせ 申込先

第1回和歌山県市町村対抗

ジュニア駅伝大会

県内初の小学生による市町村対抗駅伝大会が、2月17日に和歌山市で開催されました。当日

はあいにくの雨でしたが、沿道からの盛大な応援に、選手の皆さんは力走で応えていました。



入賞市町村

- 1位.和歌山市 2位.下津町 3位.御坊市 4位.すさみ町
- 5位.岩出町 6位.有田市 7位.桃山町 8位.南部川村

県政メール通信 受信希望者募集

県内在住の人に県政の話題をEメールで配信します。

内容 県政の話題を中心に県内の様々なニュースを適時配信(不定期)、4月中旬から配信開始予定です。

対象 県内在住で、パソコン等によりEメールの受信ができ、アンケート調査等に協力できる人。なお、携帯電話には対応していません。

申込 住所、氏名、年齢、性別、メールアドレスを記入し、Eメール又はハガキで4月30日までに県庁広報室

Eメール e0002002@office.wakayama.go.jp

問い合わせ 県庁広報室☎073(441)2034



新年度がスタート。春の陽気の中、進学や就職、転勤などで期待と不安が入り交じり、一種独特の雰囲気を感じる時季です。決して、寒くて外へ出たくなかったからではありませんが、2月号からこの4月号まで私が担当したページは、写真は別として、県庁内で資料を集めて記事をつくりました。今また気持ちを新たに、どんどん取材に出かけたいと思っていますので、インタビューや写真をお願いしたときは、どうぞ前向きにご協力ください。(信)